News & Clip AV Material

ニュースクリップ&映像教材

■第13回「全国こども科学映像祭」作品募集中

（一財）日本視聴覚教育協会、（公財）つくば科学万博記念財団、（独）科学技術振興機構、（公財）ニューテクノロジー振興財団主催、文部科学省、東京都教育委員会他後援による標記映像祭は、子どもたちの“科学する心”を育てることを目的とし、小・中学生を対象に科学をテーマにしたビデオ作品を募集している。今年度は新たに動画の他、写真・イラスト等での連続観察記録も応募可とし、ホームページをリニューアルし、インターネット受付を開設した。詳細は、33頁を参照。

協会情報

■ 平成26年度全国自作視聴覚教材コンクールに106作品が応募

（一財）日本視聴覚教育協会主催、文部科学省後援による標記コンクールの今年度の参加作品は、106作品。内訳は、小学校部門（幼稚園・保育所を含む）28作品、中学校部門16作品、高等学校部門６作品、社会教育部門56作品。８月中に審査が行われ、本誌９月号上で発表。表彰式および発表会は、平成26年９月12日（金）、東海大学校友会館（千代田区霞が関3-2-5）において行われる。

AV情報

■ 第５回国際科学映像祭―伝わる科学―

国際科学映像祭実行委員会主催による標記映像祭は、良質な科学映像コンテンツを広く紹介し、あわせてコンテンツや技術開発に関わる人々の情報交換及び科学映像クリエーターの発表の場として、下記の要領で開催される。

〈日程〉　平成26年８月１日（金）～９月28日（日）の59日間。

〈会場〉　広島市こども文化科学館（広島市）、郡山市ふれあい科学館（福島県郡山市）を始めとする日本国内の科学館・プラネタリウム館、シアターなど。

〈内容〉　科学映像上映、スタンプラリー、ドームフェスタ等。詳細は、下記を参照のこと。

http://image.sci-fest.net/

〈問い合わせ先〉　自然科学研究機構国立天文台天文情報センター内　国際科学映像祭実行委員会事務局　TEL 0422-34-3900（内線3395）

■ 第15回広島国際アニメーションフェスティバル

アニメーション芸術の国際的振興とアニメーションを通じた国際的相互理解を目的に、広島市他主催による標記フェスティバルが開催される。

〈日程〉　平成26年８月21日（木）～25日（月）

〈場所〉　アステールプラザ（広島市中区加古町4-17）

〈内容〉　コンペティション、特別プログラム・展

ブックレビュー

「タブレット端末で実現する協働的な学び xSync―シンクロする思考」

中川一史・寺嶋浩介・佐藤幸江
編著
フォーラム・A　発行
2014年４月刊　B5判
135頁
本体1,800円＋税

本書は、協働的な学びの成立には「からみ」（絡み）と「ゆらぎ」（揺らぎ）が重要であり、「からみ」や「ゆらぎ」の場における思考の可視化ツールとしてタブレット端末などのICT が有効であることを多くの授業実践事例をもとにまとめたものである。編著者は、「からみ」とは『目的を持って、論点を明確にして、話し合いを深めていくさま』と定義している。評者が言い換えるなら、子どもたちが課題や問題に対して互いに意見を出し合い、その意見が絡み合ったり解れたりしながら議論していくさまと言えよう。

一方、「ゆらぎ」とは『子どもが自分の考えがゆさぶられることと』と定義している。同じく評者が換言するなら、子どもたちの初期に持っていた考えが他者（人や情報など）によって刺激されたり再考を余儀なくされたりすることであると言えよう。これらのことが協働的な学びの成立には重要であり、それが無かったり見えなかったりする場合には表面的な話し合いになっていると説いている。

確かに、各学校においては言語活動の充実を図ることが求められており、グループによる話し合いや黒板に出て自分の考えを発表する形態が多く取り入れられている。本書は、このような形態による学習をより充実させる上で「からみ」と「ゆらぎ」の重要性と、子どもたちの考えを可視化するためのツールとしてタブレット端末に焦点を当てている。

本書は全体の半分以上を費やして「タブレット端末を活用した協働学習事例」を紹介してある。全16事例が各４ページで紹介されているので、これだけでも読み応えがある。これらを前半とし、後半には「協働学習の肝はここにある」を視座に、編著者らがそれぞれの理論や考察について論じている。言わば、事例と理論の二本立てとなっていて、学校現場の教師の目でも読めるし、教育研究者の目でも読める“実学書”である。

（金沢星稜大学教授　村井万寿夫）

示、エデュケーショナル・フィルムマーケット等。詳細は、下記を参照のこと。http://hiroanim.org/
〈問い合わせ先〉　広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会事務局　TEL 082-245-0245

研究会情報

■「伝えるチカラ育成セミナー」

（一社）日本教育情報化振興会では、情報教育対応教員研修全国セミナーとして、「協働学習とICT活用」をテーマに標記セミナーを開催する。
〈日時〉　平成26年８月23日（土）13:00～17:00
〈会場〉　秋葉原UDX GALLERY（東京都千代田区外神田4-14-1）
〈対象〉　小中学校の教職員、教育センター、教育研究所の先生方。
〈内容〉　基調講演「協働的な学びのススメ」中川一史氏（放送大学教授）、実践発表「iPadアプリ（デジタルレポート）の実践」「新聞制作の実践」「プレゼンテーションの実践」、操作体験タイム、パネルディスカッション「協働的な学びにICTはどのように寄与するか」等。詳細は、下記を参照のこと。h ttp://www.japet.or.jp/
〈問い合わせ先〉　（一社）日本教育情報化振興会
TEL 03-5575-5365

■ 情報教育研究会　第４回研究大会

情報教育研究会では、「教育分野におけるデジタル教材・クラウド」をテーマに標記研究大会を開催する。
〈日時〉　平成26年８月20日（水）13:00～16:30
〈会場〉　アルカディア市ヶ谷（私学会館）5F大雪（東京都千代田区九段北4-2-25）
〈内容〉　研究発表・講演「クラウドを使用した新しい授業とその可能性―品川女子学院の実践例―」「“これをやれ”と言わずにiPadを渡すとどうなるのか？」、企業展示、事例報告企業の部「高校デジタル教科書とICT最先端技術について」「個

人情報を巡る新しい動向とプライバシーマーク」等。詳細は、下記を参照のこと。
http://www.infoedu.jp/
〈問い合わせ先〉　情報教育研究会事務局　鴎友学園女子中学高等学校内　FAX 03-3420-8782

コンクール情報

■ 平成26年度「第18回」文化庁メディア芸術祭作品募集

文化庁メディア芸術祭実行委員会は、優れた作品を顕彰するとともに受賞作品の鑑賞機会を提供する標記芸術祭開催にあたり、作品を募集している。
〈募集部門〉　○アート部門、○エンターテインメント部門、○アニメーション部門、○マンガ部門
〈応募条件〉　平成25年９月13日（金）から平成26年９月２日（火）までの間に完成、または発表された作品。詳細は、下記を参照のこと。
http://j-mediaarts.jp
〈募集期間〉　平成26年９月２日（火）18:00必着。
〈賞・贈呈式〉　部門ごとに、大賞１作品、優秀賞４作品、新人賞３作品を選定。各賞に、賞状、トロフィー、副賞を贈呈。
〈問い合わせ先〉　文化庁メディア芸術祭事務局
TEL 03-3535-3501（平日10:00～18:00）

■ 子どもたちの「こころを育む活動」募集

（公財）パナソニック教育財団では、「こころを育む活動」を全国に紹介し、活動の輪を広げることを目的に活動事例を募集している。
〈応募できる活動〉　学校、NPO団体、PTAなど団体が行う子どもたちの「こころを育む活動」で、下記の３つの工夫のいずれかが認められること。①進める工夫（活動の対象や目的が明確で、進め方における工夫・努力がある）、②広げる工夫（ネットワークを作り、活動を広げるための工夫・努力がある）、③続ける工夫（活動を継続するための仕組み・工夫がある）。詳細は、下記を参照のこと。
http://www.kokoro-forum.jp/
〈賞〉　全国大賞１件（賞金100万円）、優秀賞数件（賞金30万円）等。
〈締切〉　平成26年９月30日（火）17:00
〈問い合わせ先〉　（公財）パナソニック教育財団「こころを育む総合フォーラム」事務局
TEL 03-5521-6100

■ 第３回校務支援システムによる「通知表」コンテスト

校務の情報化により実現する望ましい学校組織の検討やこれらを支える校務支援システムの機能やサービスについて検討する校務情報化支援検討会（主査　東北大学大学院堀田龍也教授）では、校務支援システムを活用し、学校経営のビジョンが映された通知表を表彰することにより、他の学校の参考としていただくことを目標に、標記コンテストを実施している。
〈応募対象〉　小学校、中学校
〈応募方法〉　応募用紙と一緒に通知表を郵送にて送付。通知表は、印刷物にて送付。詳細は、下記を参照のこと。http://www.koumu-shien.jp/
〈賞〉　最優秀賞１点、優秀賞数点他。
〈締切〉　平成26年８月31日（日）消印有効。
〈問い合わせ先〉　校務情報化支援検討会事務局通知表コンテスト係　TEL 053-444-0085

学会情報

■ 2014年映像情報メディア学会　年次大会

映像情報メディア学会では、発表・討論等を通じて意見交換を行う標記年次大会を開催する。
〈日程〉　平成26年８月31日（日）～９月２日（火）
〈会場〉　大阪大学吹田キャンパス（大阪府吹田市山田丘2-1）他
〈内容〉　企画セッション、シンポジウム、テーマ講演「4K・8K時代のコンテンツ制作」「大量メディアの検索技術」他、一般講演、デモ講演等。詳細は、下記を参照のこと。http://www.ite.or.jp/
〈問い合わせ先〉　（一社）映像情報メディア学会事務局　年次大会係　TEL 03-3432-4677

■ 第13回情報科学技術フォーラム（FIT2014）

（一社）電子情報通信学会と（一社）情報処理学会の合同主催開催により、標記フォーラムが開催される。
〈日程〉　平成26年９月３日（水）～５日（金）
〈会場〉　筑波大学筑波キャンパス（茨城県つくば市天王台1-1-1）
〈内容〉　ソフトウェア、データベース、画像認識・メディア理解、ネットワーク・セキュリティ、ユビキタス・モバイルコンピューティング、教育・人文科学、情報システム等の分野での講演、展示など。詳細は、下記を参照のこと。
http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2014/
〈問い合わせ先〉　電子情報通信学会大会・研究会部FIT担当　TEL 03-3433-6691

■ 第39回教育システム情報学会　全国大会

教育システム情報学会では「多様化する教育・学習工学とそれを支える基盤技術―形式知・経験知・身体知、そして創造性の育成―」をテーマに標記全国大会を開催する。

〈日程〉　平成26年９月10日（水）～12日（金）
〈会場〉　和歌山大学（和歌山県和歌山市栄谷930）
〈内容〉　特別講演「最近の大学改革の動向（「量と質の充実について」）」今泉柔剛氏（文部科学省大学設置室長）、基調講演、公開フォーラム「身体知・経験知の分析と学習の支援」、第21回情報教育フォーラム「教育現場におけるスマホ・タブレットの有効活用のために―ポストスマホ時代を意識しつつ―」、企業セッション等。詳細は、下記を参照のこと。http://www.jsise.org/taikai/2014/
〈問い合わせ先〉　教育システム情報学会全国大会委員会　MAIL jsise-desk@bunken.co.jp

■ 日本教育工学会　第30回全国大会

日本教育工学会では、学会創立30周年を迎え、標記全国大会を開催する。

〈日程〉　平成26年９月19日（金）～21日（日）
〈会場〉　岐阜大学（岐阜県岐阜市柳戸1-1）
〈内容〉　30周年記念企画シンポジウム・トークセッション「教育工学研究のグローバル連携を考える」、SIG（Small Interest Group）セッション「高等教育・FD」「教師教育・授業研究」「教育システム開発」「教育の情報化」「ゲーム型学習・オープンエデュケーション」「協調学習・学習科学」、ワークショップ、企業展示等。詳細は、下記を参照のこと。http://www.jset.gr.jp/taikai30/index.php
〈問い合わせ先〉　大会企画委員会
MAIL taikai2014@jset.gr.jp

文部科学省選定作品

■６月選定　紙紙しばい／ビビデオ／DDVD

「赤ずきんちゃんと学ぼう！交通ルール」D14分〈幼稚園幼児・小学校低・中学年、特別活動／幼児・少年、地域社会生活（交通安全・防犯）〉東映（株）

「『ビジュアル言語活動シリーズ』　聞く・話す・伝える　①対話・話し合いをしよう」D25分、**「『同』　②協議・討論をしよう」**D30分〈小学校高学年、国語〉（株）サン・エデュケーショナル

「対馬丸へ　今を生きている私たちから　対馬丸生存者の証言」D115分〈高等学校、地理歴史／成人、教養・情操（歴史・伝記）〉劇団ARK

「そばにいるよ！～自閉症（オーティズム）と車椅子の監督～」D77分〈少年・青年・成人、地域社会生活（社会の連帯）〉（株）北青山三丁目

「そのクリックは危険です！～被害にあった10代20代の若者たち～」D18分〈少年・青年、国民生活（メディア）〉（株）映学社

「越後浦佐毘沙門堂の裸押合―雪と炎の祭―【普及編】【記録編】」D128分〈少年・青年・成人、教養〉（株）桜映画社

「シリーズ　日本の鳥を見てみませんか　ニホンイヌワシ・森林の国に生きる」D53分〈少年・青年・成人、教養・情操（自然科学）〉（有）コア・ティ・ナイン

「被害多発！危険なクリック～ 20代30代をねらうネットの罠～」D19分〈青年・成人、国民生活（メディア）〉（株）映学社

「石川文洋を旅する」D109分〈青年・成人、国際性（国際理解・平和）〉合同会社東風

「急増！高齢者をねらう特殊詐欺・悪質商法～訪問購入・点検商法・投資詐欺～」D19分〈成人、国民生活（消費者保護）〉（株）映学社

映像作品等選定一覧の詳細は、下記を参照のこと。
http://www.mext.go.jp/ａ_menu/shougai/movie/main9_a1.htm

寄贈図書資料

「徳島大学　大学開放実践センター紀要　第23巻」徳島大学大学開放実践センター、平成26年３月31日、B5判50頁

短信

■ 文部科学省生涯学習政策局情報教育課の異動

平成26年７月10日付け
○情報教育課教育情報施策調整係長　度會友哉氏→初等中等教育局教育課程課教育課程企画室企画係長　○研究振興局ライフサイエンス課併・内閣官房 副長官補付命・内閣官房健康・医療戦略室室員併・内閣府本府独立行政法人日本医療研究開発機構担当室室員　加々美綾乃氏　→情報教育課教育情報施策調整係

■去る６月、公益財団法人学習ソフトウェア情報研究センターでは、理事長の菱村幸彦氏が退任、顧問に就任し、後任理事長に辻村哲夫氏が就任した。